

人員基準チェックリスト（短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護）

事業所名称

1 単独型事業所																																							
職 種	基準（空欄に必要事項を記入し、各項目の該当する「□」又は「○」にレ点を付すこと。）																																						
利用定員	<table border="1"> <tr> <td>利用定員</td> <td>人</td> </tr> </table>	利用定員	人																																				
利用定員	人																																						
利用者数 （前年度の平均値）	<table border="1"> <tr> <td>前年度の利用者延数</td> <td>前年度の日数</td> <td>=</td> <td>利用者数</td> </tr> <tr> <td>人・日</td> <td>日</td> <td></td> <td>人</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: right;">(小数点第2位以下切上)</td> </tr> </table>	前年度の利用者延数	前年度の日数	=	利用者数	人・日	日		人	(小数点第2位以下切上)																													
前年度の利用者延数	前年度の日数	=	利用者数																																				
人・日	日		人																																				
(小数点第2位以下切上)																																							
従業者	医師	<input type="checkbox"/> 1以上配置している。																																					
	生活相談員	<p> <input type="checkbox"/> 生活相談員として必要な資格を有している。 ・社会福祉主事任用資格 ・社会福祉士 ・精神保健福祉士 ・介護支援専門員 ・介護福祉士 ・同一法人が運営する社会福祉施設等において3年以上かつ540日以上介護業務等に従事した経験があり、事業者が生活相談員としての能力を有すると認める者 </p> <p> <input type="checkbox"/> 常勤換算方法で、利用者の数が100又はその端数を増すごとに1以上配置している。 </p> <p> <input type="checkbox"/> 1人以上は、常勤である。 </p> <p> 〈必要数〉 <table border="1"> <tr> <td>利用者数</td> <td>÷</td> <td>100</td> <td>=</td> <td>必要数</td> </tr> <tr> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>人</td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="text-align: right;">(小数点以下切上)</td> </tr> </table> </p> <p> 〈配置員数〉（ 月） </p> <table border="1"> <tr> <td>常勤[※]の従業者数 (A)</td> <td rowspan="2">÷</td> <td>非常勤の従業者の勤務延時間数</td> <td rowspan="2">÷</td> <td>常勤の従業者が勤務すべき時間数</td> <td rowspan="2">=</td> <td>常勤換算</td> <td rowspan="2">+</td> <td>常勤換算後の員数</td> </tr> <tr> <td>人</td> <td>時間</td> <td>時間</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td colspan="9" style="text-align: right;">(小数点第2位以下切捨)</td> </tr> </table> <p> ※常勤：当該事業所における勤務時間が、当該事業所において定められている常勤の従業者が勤務すべき時間数に達していることをいう。 </p>	利用者数	÷	100	=	必要数	人				人	(小数点以下切上)					常勤 [※] の従業者数 (A)	÷	非常勤の従業者の勤務延時間数	÷	常勤の従業者が勤務すべき時間数	=	常勤換算	+	常勤換算後の員数	人	時間	時間	人	人	(小数点第2位以下切捨)							
利用者数	÷	100	=	必要数																																			
人				人																																			
(小数点以下切上)																																							
常勤 [※] の従業者数 (A)	÷	非常勤の従業者の勤務延時間数	÷	常勤の従業者が勤務すべき時間数	=	常勤換算	+	常勤換算後の員数																															
人		時間		時間		人		人																															
(小数点第2位以下切捨)																																							

職	種	基準（空欄に必要事項を記入し、各項目の該当する「□」又は「○」にレ点を付すこと。）										
	介護職員又は看護職員	<p>□ 常勤換算方法で、利用者の数が3又はその端数を増すごとに1以上配置している。</p> <p>□ 常時1人以上の介護職員を介護に従事させている。</p> <p>□ 看護職員又は介護職員のうち1人以上は、常勤である。</p> <p>○ 看護職員を配置している。</p> <p>○ 看護職員を配置していない場合、病院、診療所、訪問看護ステーション等との密接な連携により確保している。</p> <p>[連携を図る看護職員の所属] 事業所名： _____ 所在地： _____</p> <p>◆ユニット型事業所の場合</p> <p>□ 昼間について、ユニットごとに常時1人以上配置している。</p> <p>□ 夜間及び深夜について、2ユニットごとに1人以上配置している。</p> <p>□ ユニットごとに、常勤のユニットリーダーを配置している。</p>										
従業者	介護職員又は看護職員	<p>〈必要数〉</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 利用者数 _____ 人 ÷ 3 = 必要数 _____ 人 (小数点以下切上) </div> <p>〈常勤換算式〉 (____ 月)</p> <div style="display: flex; align-items: center; gap: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 常勤の従業者数 (A) _____ 人 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 非常勤の従業者の 勤務延時間数 _____ 時間 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 常勤の従業者が 勤務すべき時間数 _____ 時間 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 常勤換算 (B) _____ 人 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 常勤換算後の員数 (A) + (B) _____ 人 </div> </div> <p>(小数点第2位以下切捨)</p> <p>□ 必要な員数の夜勤を行う職員を配置している。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>〈配置すべき夜勤を行う職員の員数〉</p> <p>◆ユニット型事業所以外の場合（従来型）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">[利用者の数が25以下]</td> <td>1以上</td> </tr> <tr> <td>[利用者の数が26以上60以下]</td> <td>2以上</td> </tr> <tr> <td>[利用者の数が61以上80以下]</td> <td>3以上</td> </tr> <tr> <td>[利用者の数が81以上100以下]</td> <td>4以上</td> </tr> <tr> <td>[利用者の数が101以上]</td> <td>4に、利用者の数が100を超えて25又はその端数を増すごとに1を加えて得た数以上</td> </tr> </table> <p>◆ユニット型事業所の場合</p> <p>2のユニットごとに、1以上</p> </div>	[利用者の数が25以下]	1以上	[利用者の数が26以上60以下]	2以上	[利用者の数が61以上80以下]	3以上	[利用者の数が81以上100以下]	4以上	[利用者の数が101以上]	4に、利用者の数が100を超えて25又はその端数を増すごとに1を加えて得た数以上
[利用者の数が25以下]	1以上											
[利用者の数が26以上60以下]	2以上											
[利用者の数が61以上80以下]	3以上											
[利用者の数が81以上100以下]	4以上											
[利用者の数が101以上]	4に、利用者の数が100を超えて25又はその端数を増すごとに1を加えて得た数以上											
	栄養士	<p>○ 1以上配置している。</p> <p>○ 配置していない場合、次の要件を全て満たしている。</p> <p>□ 利用定員が40人以下である。</p> <p>□ 利用者の処遇に支障がない。</p> <p>□ 他の社会福祉施設等の栄養士との連携を図ることにより、当該事業所の効果的な運営を期待することができる。</p> <p>[連携を図る栄養士の所属] 事業所名： _____ 所在地： _____</p>										

職 種	基準（空欄に必要事項を記入し、各項目の該当する「□」又は「○」にレ点を付すこと。）
機能訓練指導員	<input type="checkbox"/> 機能訓練指導員として必要な資格を有している。 ・理学療法士 ・作業療法士 ・言語聴覚士 ・看護師 ・准看護師 ・柔道整復師 ・あん摩マッサージ指圧師 ・はり師 ・きゅう師 （※はり師及びきゅう師については、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護職員、柔道整復師又はあん摩マッサージ指圧師の資格を有する機能訓練指導員を配置した事業所で6月以上機能訓練指導員に従事した経験を有する者に限る。） <input type="checkbox"/> 1以上配置している。
調理員その他の従業者	<input type="checkbox"/> 当該事業所の実情に応じた適当数配置している。
管理者	<input type="checkbox"/> 常勤である。 <input type="radio"/> 専従である。 <input type="radio"/> 専従でない場合、次の要件を満たしている。 <input type="checkbox"/> 事業所の管理上支障がない。 <input type="checkbox"/> 兼務する職務が次のいずれかの場合である。 <input type="radio"/> 当該事業所の他の職務 <input type="radio"/> 同一敷地内にある他の事業所、施設等の職務 ※管理すべき事業所数が過剰である場合や、併設する入所施設において入所者に対しサービス提供を行う看護・介護職員と兼務する場合などは、管理業務に支障があると考えられる。 [兼務する職務] 事業所名： _____ 所在地： _____ 兼務する職務： _____ ※介護サービス事業以外の職務についても記載すること。

人員基準チェックリスト（短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護）

事業所名称

2 併設型事業所																				
職 種	基準（空欄に必要事項を記入し、各項目の該当する「□」又は「○」にレ点を付すこと。）																			
利用定員等	<table border="1"> <tr> <td>短期入所生活介護の利用定員 人</td> <td>併設本体施設の利用定員等 人</td> </tr> </table>	短期入所生活介護の利用定員 人	併設本体施設の利用定員等 人																	
短期入所生活介護の利用定員 人	併設本体施設の利用定員等 人																			
利用者数※ （前年度の平均値）	<table border="1"> <tr> <td>前年度の利用者延数 人・日</td> <td>÷</td> <td>前年度の日数 日</td> <td>=</td> <td>利用者数 人 <small>（小数点第2位以下切上）</small></td> </tr> </table> <p>※利用者数は、短期入所生活介護の利用者と併設本体施設の入所者等の数を合算した数とすること。</p>	前年度の利用者延数 人・日	÷	前年度の日数 日	=	利用者数 人 <small>（小数点第2位以下切上）</small>														
前年度の利用者延数 人・日	÷	前年度の日数 日	=	利用者数 人 <small>（小数点第2位以下切上）</small>																
従業者	<p>医師</p> <p><input type="checkbox"/> 1以上配置している。 ※併設本体施設に医師が配置されている場合であって、当該施設の事業に支障を来さない場合は兼務可能</p>																			
	<p>生活相談員</p> <p><input type="checkbox"/> 生活相談員として必要な資格を有している。 ・社会福祉主事任用資格 ・社会福祉士 ・精神保健福祉士 ・介護支援専門員 ・介護福祉士 ・同一法人が運営する社会福祉施設等において3年以上かつ540日以上介護業務等に従事した経験があり、事業者が生活相談員としての能力を有すると認める者</p> <p><input type="checkbox"/> 常勤換算方法で、利用者の数が100又はその端数を増すごとに1以上配置している。</p> <p><input type="checkbox"/> 1人以上は常勤である。 ○利用定員が20人以上である。 ○利用定員が20人未満の場合、常勤で配置しないことができる。</p> <p>〈必要数〉</p> <table border="1"> <tr> <td>利用者数 人</td> <td>÷</td> <td>100</td> <td>=</td> <td>必要数 人 <small>（小数点以下切上）</small></td> </tr> </table> <p>〈配置員数〉（ 月）</p> <table border="1"> <tr> <td>常勤※の従業者数 (A) 人</td> <td rowspan="2">+</td> <td>非常勤の従業者の勤務延時間数 時間</td> <td>÷</td> <td>常勤の従業者が勤務すべき時間数 時間</td> <td>=</td> <td>常勤換算 (B) 人</td> <td rowspan="2">+</td> <td>常勤換算後の員数 (A)+(B) 人</td> </tr> <tr> <td colspan="6"><small>（小数点第2位以下切捨）</small></td> </tr> </table> <p>※常勤：当該事業所における勤務時間が、当該事業所において定められている常勤の従業者が勤務すべき時間数に達していることをいう。</p>	利用者数 人	÷	100	=	必要数 人 <small>（小数点以下切上）</small>	常勤※の従業者数 (A) 人	+	非常勤の従業者の勤務延時間数 時間	÷	常勤の従業者が勤務すべき時間数 時間	=	常勤換算 (B) 人	+	常勤換算後の員数 (A)+(B) 人	<small>（小数点第2位以下切捨）</small>				
利用者数 人	÷	100	=	必要数 人 <small>（小数点以下切上）</small>																
常勤※の従業者数 (A) 人	+	非常勤の従業者の勤務延時間数 時間	÷	常勤の従業者が勤務すべき時間数 時間	=	常勤換算 (B) 人	+	常勤換算後の員数 (A)+(B) 人												
<small>（小数点第2位以下切捨）</small>																				

職 種	基準（空欄に必要事項を記入し、各項目の該当する「□」又は「○」にレ点を付すこと。）
介護職員又は 看護職員	<p>□ 常勤換算方法で、利用者の数が3又はその端数を増すごとに1以上配置している。</p> <p>□ 常時1人以上の介護職員を介護に従事させている。</p> <p>□ 利用定員が20人以上の場合、看護職員又は介護職員のうち1人以上は、常勤である。</p> <p>○ 利用定員が20人未満の場合、常勤で配置しないことができる。</p> <p>○ 看護職員を配置していない場合、病院、診療所、訪問看護ステーション、併設本体施設等との密接な連携により看護職員を確保している。</p> <p>[連携を図る看護職員の所属] 事業所名： _____ 所在地： _____</p> <p>◆ユニット型事業所の場合</p> <p>□ 昼間について、ユニットごとに常時1人以上配置している。</p> <p>□ 夜間及び深夜について、2ユニットごとに1人以上配置している。</p> <p>□ ユニットごとに、常勤のユニットリーダーを配置している。</p>
従業者 介護職員又は 看護職員	<p>〈必要数〉</p> $\boxed{\text{利用者数}} \text{ 人} \div 3 = \boxed{\text{必要数}} \text{ 人}$ <p>(小数点以下切上)</p> <p>〈配置員数〉(____ 月)</p> <p>常勤の従業者数 (A) 人</p> <p>非常勤の従業者の勤務延時間数 時間</p> <p>常勤の従業者が勤務すべき時間数 時間</p> $\boxed{\text{非常勤の従業者の勤務延時間数}} \text{ 時間} \div \boxed{\text{常勤の従業者が勤務すべき時間数}} \text{ 時間} = \boxed{\text{常勤換算}} \text{ (B) 人}$ <p>(小数点第2位以下切捨)</p> <p>常勤換算後の員数 (A)+(B) 人</p> <p>□ 必要な員数の夜勤を行う職員を配置している。</p> <p>〈配置すべき夜勤を行う職員の員数〉</p> <p>◆ユニット型事業所以外の場合（従来型）</p> <p>[利用者の数が25以下] 併設本体施設として必要とされる数の夜勤を行う職員に加えて、1以上</p> <p>[利用者の数が26以上60以下] 併設本体施設として必要とされる数の夜勤を行う職員に加えて、2以上</p> <p>[利用者の数が61以上80以下] 併設本体施設として必要とされる数の夜勤を行う職員に加えて、3以上</p> <p>[利用者の数が81以上100以下] 併設本体施設として必要とされる数の夜勤を行う職員に加えて、4以上</p> <p>[利用者の数が101以上] 併設本体施設として必要とされる数の夜勤を行う職員に加えて、4に、利用者の数が100を超えて25又はその端数を増すごとに1を加えて得た数以上</p> <p>◆ユニット型事業所の場合 2のユニットごとに、1以上</p>

職 種	基準（空欄に必要事項を記入し、各項目の該当する「□」又は「○」にレ点を付すこと。）
<p>栄養士</p>	<p>○ 1以上配置している。 ※併設本体施設に栄養士が配置されている場合であって、当該施設の事業に支障を来さない場合は兼務可能</p> <p>○ 配置していない場合、次の要件を全て満たしている。</p> <p>□ 利用定員が40人以下である。</p> <p>□ 利用者の処遇に支障がない。</p> <p>□ 他の社会福祉施設等の栄養士との連携を図ることにより、当該事業所の効果的な運営を期待することができる。</p> <p>[連携を図る栄養士の所属] 事業所名： _____ 所在地： _____</p>
<p>機能訓練指導員</p>	<p>□ 機能訓練指導員として必要な資格を有している。 ・理学療法士 ・作業療法士 ・言語聴覚士 ・看護師 ・准看護師 ・柔道整復師 ・あん摩マッサージ指圧師</p> <p>□ 1以上配置している。 ※併設本体施設に機能訓練指導員が配置されている場合であって、当該施設の事業に支障を来さない場合は兼務可能</p>
<p>調理員その他の従業者</p>	<p>□ 当該事業所の実情に応じた適当数配置している。</p>
<p>管理者</p>	<p>□ 常勤である。</p> <p>○ 専従である。</p> <p>○ 専従でない場合、次の要件を満たしている。</p> <p>□ 事業所の管理上支障がない。</p> <p>□ 兼務する職務が次のいずれかの場合である。</p> <p>○ 当該事業所の他の職務</p> <p>○ 同一敷地内にある他の事業所、施設等の職務</p> <p>※管理すべき事業所数が過剰である場合や、併設する入所施設において入所者に対しサービス提供を行う看護・介護職員と兼務する場合などは、管理業務に支障があると考えられる。</p> <p>[兼務する職務] 事業所名： _____ 所在地： _____ 兼務する職務： _____ ※介護サービス事業以外の職務についても記載すること。</p>

人員基準チェックリスト（短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護）

事業所名称 _____

3 空床型事業所	
職 種	基準（空欄に必要事項を記入し、各項目の該当する「□」又は「○」にレ点を付すこと。）
	<input type="checkbox"/> 利用者を特別養護老人ホームの入所者とみなした場合における特別養護老人ホームとして必要とされる数の従業者を配置している。 ※当該施設の種類に応じ、「人員基準チェックリスト（介護老人福祉施設）」又は「人員基準チェックリスト（地域密着型介護老人福祉施設）」を添付すること。